

平成 25 年度第 3 回浦安市介護保険運営協議会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 2 月 6 日 (木) 午後 1 時 15 分～3 時

2. 開催場所 健康センター 1 階 第 1 会議室

3. 出席者

(委員) 工藤委員(会長)、熊川委員、井村委員、山上委員、宇田川委員、高波委員、等々力委員、委員、森下委員、梅原委員、宮川委員、原口委員、近藤委員

(事務局) 石田健康福祉部次長、大塚介護保険課長、大塚地域包括支援センター所長、佐久間高齢者支援課長、泉澤健康増進課長、関根介護保険課課長補佐、河野高齢者支援課課長補佐、町山健康増進課課長補佐、河野健康増進課成人保健係長、池田保険料係長、岩田認定係長、峯村事業係長、山田主任主事、渡邊主任主事、牧野主任主事、山崎主事

4. 進 行

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 題

(1) 高齢者保健福祉計画及び第 6 期介護保険事業計画の策定に伴う基礎調査の分析結果について

(2) その他

① 介護予防ケアマネジメント業務委託事業者の承認について

② 介護保険制度の改革 (案) について

③ その他

5. 会議経過

議題(1)について

委員: 高齢者実態調査と介護保険事業計画策定のための調査について、調査結果の割合の合計が 100 パーセントとなっていないが、その理由を教えてください。

事務局: 今回配布しました資料では回答者のうち未記入の割合を除いて記載しており、未記入の割合を含めると全体では 100 パーセントとなります。未記入を除いた回答肢の合計を 100 パーセントとするか、設問ごとに検討したいと思います。

委員: 今回の調査において、どのようにして対象者を選別したのか、また、介護保険事業計画策定のための調査では要介護度を加味して調査を行ったのかを教えてください。

事務局: 一般高齢者については、全体人口を生活圈域ごとの地区別で一定の水準になるよう按分し、調査を行いました。また、介護保険事業計画のための調査では要介護度は抽出条件ではありませんが、調査項目において要介護度の記入箇所がありますので、各調査項目と要介護度をふまえた結果報告を行う予定です。

委員:介護保険事業計画のための調査で、介護保険未利用者について、どのような理由で介護サービスを未利用であると市では分析しているのか。

事務局:未利用者については、要介護度では要支援1の方が多く、現状では介護サービスを利用する必要がないため未利用であると考えております。その他、医療保険によるサービスを利用しているため介護保険によるサービスを未利用である方や介護施設入所の申請を行うために、要介護認定を受けた方が多いのではないかと分析しております。

委員:高齢者実態調査で、地域活動への参加は、介護予防につながることもあるので、参加の状況を地域別に把握することも重要だと考えるが、市はどう考えているか。

事務局:地域活動への参加を促すことも重要な施策の一つであり、地域別の参加状況を考慮した上で、今後の事業計画策定時に検討したいと考えております。

委員:今回の調査結果を見ると、介護人材の不足の傾向が強く見受けられるが、介護人材の確保について、市はどのような対策を考えているか。

事務局:次期の第6期介護保険事業計画においては、介護職員の処遇改善を図るべく、地域加算を現行の6パーセントから12パーセントへ改善する予定です。また、有識者による講演会を行い、介護人材の不足の問題についても取り上げ、市・事業者が連携して検討して行きたいと考えております。

議題(2)について

委員:介護保険制度改革の骨子において、特別養護老人ホームの入所を原則、要介護3以上の中・重度者に限定するとしているが、要介護1から要介護5までバランスよく、入所した方が施設で働く職員が円滑に働けると思うが、市はどう考えているのか。

事務局:特別養護老人ホームの入所を原則、要介護3以上の中・重度者に限定する予定ですが、一定の要件のもとで、要介護1または要介護2の方も施設への入所ができるよう国の指針をふまえて対応して行く予定です。

6. 問い合わせ先

健康福祉部 介護保険課 保険料係 担当 池田・牧野
電話 047-351-1111 内線 1177・1178